

東の海より出ずる朝の日

令和元年 11月 7日 NO.7

求めよう！

東海で15歳のあるべき姿を！

品川区立東海中学校 校長 野口 敏朗

電話 03 3471 6951

知的好奇心を高めることは不易

今月の行事

- 11/02(土) 音楽祭
- 11/05(火) 区英語学習発表会
- 11/06(水) 実力テスト⑦⑧⑨
三者面談開始⑨
- 11/12(火) テスト週間開始
- 11/15(金) 歯科講話⑦
- 11/16(土) 土曜登校日
- 11/19(火)～11/21(木)
期末考査
- 11/25(月) 全校朝礼
- 11/27(水) 東海Gグリーンレンジャー
- 12/02(月) 全校朝礼
専門委員会
- 12/03(火) 三者面談開始
- 12/04(水) 教育会・部活動中止
- 12/07(土) 土曜登校日
避難訓練
- 12/10(火) 三者面談終了

ラグビー桜ジャパン変容から思う

ラグビーワールドカップが終了しました。日本代表はみごと予戦リーグを突破しベスト8に輝きました。テレビ観戦での感想になりますが、日本代表の体格といい、戦略といい目覚ましい伸展を見せてくれました。世界のラグビーに追いついたのではなく日本代表が変化したのだと思います。なぜなら世界のラグビーも進化しているからです。ラグビーを観戦しながら漠然と思い浮かべたことがありました。それは学習指導要領の改訂です。ラグビーから教育界に目を移せば、これまた大きく変化しようとしています。

時代は今、激しく変化しようとしています。私たちが今までのように歩んでは、時代の変化に追いついていくことが困難になってしまうほどです。その変化の代表的な存在は、AI（人工知能）技術の伸展やビッグデータ等の活用等が挙げられます。現在展開されている多くの業務は、AI技術に代替されたり、今までコツコツと集めていたデータ等はビッグデータ（情報通信技術の進歩によってインターネット上で収集、分析できるようになった膨大なデータ）として管理されたりすることで、産業自体の大きな変化とともに、働き方も大きく変わると言われています。実際、マイケル・A・オズボーン氏は「消える職業」「なくなる仕事」の現実化を述べ、キャシー・デビットソン氏は「今は存在しない新たな職業や仕事の出現」を指摘しています。しかし、その新たな職業や仕事で、人間がAI等に管理されてしまえば、我々人間としての尊厳が失われる可能性が生じます。したがって、これからの社会を生きる子供たちが、

AI等に管理されることなく、心豊かな生活を確保しつつ、「自己の進路（職業）を実現する」ためには、今までの教育の在り方を改めなければなりません。今を生きる子供たちにはこれからの激変に対応することのできる柔軟で創造的な思考力・判断力の育成がより不可欠となりました。また、昨今言われている超スマート社会の到来、いわゆる「Society5.0 社会」に生きる子供たちをどのように育成するかが大きな課題となってきています。確かに、今までの学校では一斉一律の授業が多く展開されてきました。それ自体、読み・書き・算などと言われる基盤的な学力を確実に習得させましたが、そうした教育の場は、今後、個人の速度や能力、関心に応じた学びの場へと転換していくのです。すでに数学や英語では習熟度少人数授業が導入されていますが、同一学年集団の学習形態から、学習到達度や学習課題等に応じた異年齢、異学年集団での協働学習形態に変化し、人間ならではの力を発揮しながら激動する社会を生き抜き、「自己実現できる子供の育成」の場と変化するのでしょうか。日本代表は、スクラム時のフォアードの8人の膝の角度まで徹底的に分析した科学的なトレーニングの導入やそのための基礎基本を徹底したと聞きます。変幻自在で予則困難な動きを見せる外国勢と戦うための想像力・判断力・思考力・表現力を働かせたパスやタックル、スクラム等を見た時、各校種・各学校での新学習指導要領の全面実施学に思いを馳せました。何よりも、試合中の仲間を信じ切るその姿に豊かな人間性の高まりを感じました。激変する時代を踏えて、新学習指導要領の総則では、予測困難な社会の変化に対応できる子供の育成を強く求めています。

※ マイケル・A・オズボーン氏；オックスフォード大学准教授。論文「未来の雇用」

※ キャシー・デビットソン氏；ニューヨーク市立大学教授の予測

※ 学習指導要領は、「前文」「総則」「各教科」「特別な教科 道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」の順に示されています。

オリンピックパラリンピック教育～トップアスリートに学ぶ～

10月2日(水)に、福岡国際やアメリカ国際など柔道の国際大会で優勝経験があり、オリンピック代表候補だった石川(旧姓北爪)弘子選手と全日本柔道連盟参事の田中裕之先生をお迎えし、柔道の実技講演会を実施しました。講演会の前半では、初めに石川選手を相手に、代表生徒による投げ技の実演や受け身の体験が行われました。また田中先生と石川先生による、受け身や投げ技の実演もしていただきました。後半は、石川選手がオリンピックを目指して柔道に打ち込んできた経緯や、数々の対戦から得た教訓についてお話をいただきました。この講演を通して、夢や希望をもって生きていくことの素晴らしさについて、トップアスリートの生き方から学ぶことができ、生徒一人一人が自らの生き方を考える良い機会となりました。



連合体育大会で今年も東海中生徒が大活躍！

10月8日(火)に品川区連合体育大会が駒沢競技場で開催されました。この大会に向け、夏休みから練習に励んできた54名の選手は、連合体育大会当日も練習の成果をしっかりと発揮してきました。7年男子400mRをはじめ合計10競技で1位を獲得し、18名の生徒が3位入賞を果たしました。



合同運動会ボランティアで活躍

10月20日(日)に浅間台小学校で、青少年対策品川第二地区委員会主催の合同運動会が開催されました。東海中学校からは運営ボランティアとして15名の生徒が参加し、運動会の運営に協力しました。



品川第二地区協議会総合防災訓練に今年も東海中学校D級ポンプ隊が参加

10月27日(日)に東海中学校校庭で、品川第二地区協議会総合防災訓練が実施され、今年も東海中学校のD級ポンプ隊が、ポンプ操法を披露しました。今年も14名の生徒が、ポンプ隊ボランティアに参加し、防災訓練に向け、練習を重ねてきました。訓練当日は、代表5名が練習の成果を発揮し、きびきびとした動きを地域の皆様にお見せすることができました。

